

肥前精神医療センター

児童思春期病棟

肥前精神医療センターには重症心身障害病棟、児童思春期病棟、通所があります。今回は児童思春期病棟の紹介をします。児童思春期病棟では、保育士が2名配属しており、療育や行事運営などを中心に行っています。



【病棟概況】

- ▶定床:40床
- ▶対象年齢:小学生～20歳未満
- ▶主な疾患:自閉症スペクトラム障害、適応障害、摂食障害、気分障害など
- ▶入院形態:精神保健福祉法のもと入院、主に医療保護入院、任意入院
- ▶病棟内はAゾーン(急性期)、Bゾーン(回復期)C/Dゾーン(社会復帰)に分けられている



入院してくる患者さんたちは・

- ・周囲の人たちとうまく付き合うことが苦手
- ・自分の気持ちを言葉で表現することが苦手
- ・集団生活が苦手
- ・不登校や引きこもりで学校に行けなくなった
- ・ゲーム依存で生活リズムが崩れ、親との関係がうまくいかない など



【保育士の主な業務】

1. 個別活動

主治医からの依頼があった患者さん対象

※集団が苦手、人との付き合い方が分からない又は苦手

(内容) 机上活動(パズル、ボードゲーム、アイロンビーズなど)

運動(体操、散歩、訓練棟でのスポーツ、ボウリングなど)

2. 療育・日中活動の計画と実施

※活動内容は子どもミーティングで患者さんの意見をもとに計画する

週間プログラム一例 ※OT や心理士が対応

	月	火	水	木	金
午前	レクリエーション	OT 活動※	OT 活動※	イラスト・ぬり絵	子どもミーティング
	個別活動	個別活動			スポーツ
午後	しゃべり場※	SST※			読書・パズル
	アクセサリー作り	DVD 観賞	卓球・ゲーム	ボウリング	個別活動

3. 年間行事

4月		10月	ハロウィンパーティ
5月	人形劇鑑賞会	11月	スポーツ大会
6月	特別活動(謎解き大会)	12月	クリスマス会
7月	七夕会	1月	鏡開き
8月	夏祭り	2月	節分
9月	特別活動(伝承遊び)	3月	ひな祭り

行事は保育士が中心となり多職種で実施している(医師、看護師、臨床心理士、作業療法士など)。

*大きなイベント(夏祭り、スポーツ大会、クリスマス会)以外にも、季節や由来を知る機会や多様な体験に興味を持って参加できるように様々な行事を計画しています。

例えば、謎解き大会では有名なアニメにちなんだ内容で「挑戦状」を作り、チームに分かれて謎解きをしました。また、最近ではゲーム依存の患者さんが増えているため、昔ながらの「伝承遊び」を体験してもらい、ゲーム機から離れて楽しく過ごせる時間を作りました。ハロウィンパーティでは、2種類の科学の実験をして「自ら考えて、取り組み、学んだこと」を伝える場をもちました。保育士が考えていた以上に、それぞれ意欲的に取り組み、職員や実習生にその様子を楽しそうに話しかける姿が見られ、貴重な時間となっています。

4. 保育士が参加しているミーティング

子どもミーティング(週1回)

- ・目的:自分の意見を発言したり、他者の意見を最後まで聴いたりすることができる時間となる。また役割(司会、記録)を担うことができる。
- ・参加者:C・Dゾーンの患者さん、保育士
- ・内容:1週間の療育活動の希望を出す。病棟で気になることや話したいこと、聞きたいこと など



病棟治療ミーティング

- ・週1回1時間程度
- ・主治医、看護師、保育士で、患者の検討事項や患者情報、治療内容の確認や共有が目的

ケースカンファレンス

- ・不定期
- ・主治医、看護師、保育士らが出席。事例検討。

病棟運営ミーティング

- ・月1回
- ・病棟医長、病棟師長、OT、心理士、栄養士、保育士らが出席。患者情報の共有や病棟の状況など病棟運営に関して多職種で検討や討議をする。

つくしミーティング

- ・月1回
- ・病棟医長、病棟師長、OT、心理士、保育士が出席。患者さんの希望や意見に対して討議。

医教連絡会

- ・月1回
- ・病棟医長、病棟師長、特別支援学校教諭、OT、心理士、保育士らが出席。児童や生徒について情報共有や情報の整理などを目的とした話し合い。

5. その他

保育士が参加するワーキンググループ

①性被害ワーキンググループ

②責任レベルワーキンググループ など

行事の様子

夏祭りはアミューズメントパークをイメージした内容で楽しめました！



今年のハロウィンパーティーはたくさんの実習生と交流しながら「片栗粉スライム」と「つかめる水玉」を実験しました！



OT 活動で
お月見だんごを作りました！



クリスマス会では
ツリーを作ったり
ゲームをしたりして
今年最後の行事を
楽しめました♪



保育士は、入院中でも患者さんの自己肯定感や対人関係の学びなど、成長発達につながるよう他職種と連携しながら日々の活動や行事を計画、実践しています。
今後も、保育士の専門性を発揮しながら一人一人の個性を大切に支援にあたっていきます。